

石巻市 佐々木さんからの報告

鎌田様 2011' 0510 佐々木文彦

1. 住まいの現状

十三浜 620 世帯の現状は、①元の住宅で暮らす ②親類・知人宅で ③市内や仙台の借家で ④避難所で、に分けると概ねどんな割合でしょうか？

⇒概ねですが、①：35% ②：20% ③：15% ④：30%

2. 応急仮設住宅について

仮設住宅については、遠すぎるなどのご意見がありました。現状で市からはどんな話になっていますか？ また、それに対する皆さんの反応は？

⇒災害対策本部のあるニッコリサンパークのグラウンドに今一期分66戸の仮設住宅が工事中であり、相川地区にも地区民の要望書が出されたこともあり、避難場所に指定されているグラウンドにこれから30戸建設されるのが決まったようです。

戸数の絶対数が足りない所以他の民間の畑地利用が可能なように法的緩和措置が不可欠と思われる。

3. 高所移住について

話しを聞いた漁師のご夫妻(阿部さん?)は高台の集団地に移りたいとおっしゃっていましたが、多くの皆さんもそう考えているのでしょうか？

⇒市内や他市に移る人の数がまだよめないのですが、それ以外の多くは高台に建てたいとの意向が多いようです。その意向があっても金銭的余裕がなく判断しかねている人たちもいる。

4. 生業の復旧につて

沖に出て船を守ったというのはすごい事だと感服しましたが、漁業の復旧はすすんでいますか？その際、障害になっていることは？

⇒漁業の復旧、とくにメインのワカメ、ホタテの養殖が出来るようになるには莫大な設備投資が必要で、国や県の援助があっても4~5年はかかりそうだとのこと。漁港の湾内や漁場には流された家など建物などの残骸のため、近海漁の網もかけられないとのことで、海底のガレキ撤去が可能なのか、頭を抱えているようだ。

5. 集落の今後の復興

各集落の復興計画案づくりはどんな動きになっていますか？石巻市の対応、住民の皆さんの動向、外部からの支援などについて。

⇒各集落ごとにいろいろな案を持っている方はいるようですが、具体的な復興計画案づくりは石巻市本庁のほうで外部(県建築住宅センター等)に委託して進めているようですが、

まだ概要もわかりません。JIAとか事務所協会にその勉強会の案内は来ているようです。外部からの支援の情報は私のところに入っていません。

*お忙しいところをお手を掛けますが、石巻特に北上地区については余り報道が無いので、佐々木さん達の動きを全国に伝えたいと思っています。ご協力をお願いします。

⇒いろいろありがとうございます。

5月21日・日本民家再生協会の全国総会で、22日・木の建築フォーラムの総会・報告会があり、共に同じ東京でやるので、いろいろ支援頂いた方々への御礼兼ねて上京します。

各地の震災の報告会もあるようなので、よろしかったら参加いかがですか。

(松木さん始め象地域設計の皆さんには、事務所のかたづけ・やねのシート張など大変助かりました。先日の突風でシートは剥がされてしましましたが、仙台の友人の手伝いでコンクリートスラブの雨漏りの原因になっていたスリーブ穴8か所ほどを防水テープとコーキング・モルタルなどで処理し、なんとか雨漏りはとまったようです。)